

平成 26 (2014) 年本州太平洋サケ 4 年魚の回帰状況 (第 3 報 : 11 月 30 日現在)

独立行政法人水産総合研究センター
東北区水産研究所 沿岸漁業資源研究センター

- ・ 11 月 30 日現在までの本州太平洋側の地域のサケ来遊数は前年、平年ともに下回り、特に河川捕獲数の減少が顕著
- ・ 岩手県の安家川、片岸川、盛川、宮城県の気仙沼大川では 4 年魚の河川捕獲数が最近年 (2006 (平成 18) 年以降) で最も少ない

1. サケ来遊概況

11 月 30 日現在の本州太平洋 (竜飛岬から東の青森県～茨城県) 側の地域におけるサケ来遊数 (沿岸漁獲数と河川捕獲数の合計) は 623 万尾^{※1} (前年同期 : 89%) と前年を下回り、平年 (1989 (平成元) ~2013 (平成 25) 年の平均値) 同期との比較では 60% という状況です (図 1)。河川捕獲数は 47 万尾 (前年同期 : 76%) と前年を下回っており、平年同期との比較では 54% となっています。

※1 : 青森県、岩手県、宮城県の河川捕獲数および沿岸漁獲数 (11 月 30 日現在)、茨城県河川捕獲数 (11 月 20 日現在) の累計値

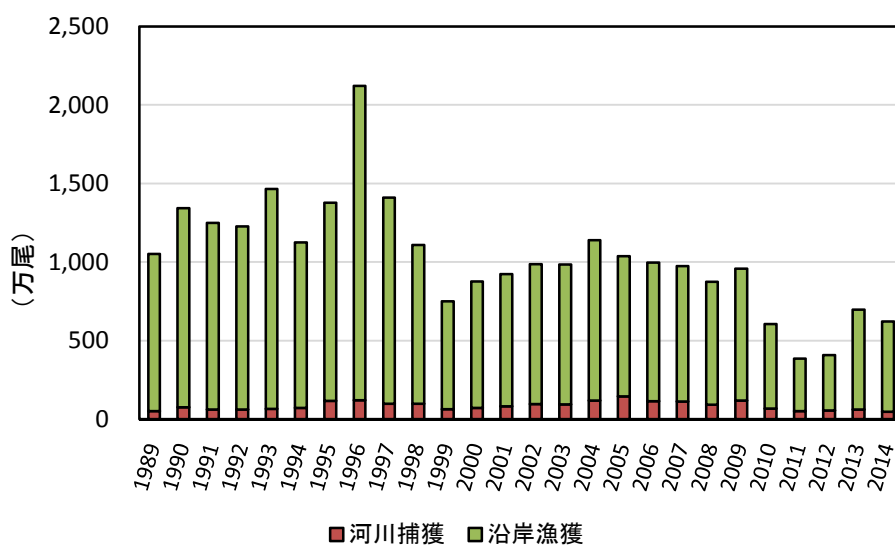


図 1. 8 月 1 日～11 月 30 日までの本州太平洋側におけるサケ来遊数 (累計値). 2014 年は速報値.

2. 年齢別河川捕獲数と 4 年魚の河川捕獲状況

年齢査定の終了している青森県、岩手県、宮城県の河川について、年齢別の河川捕獲数および 4 年魚の河川捕獲状況を河川別に示します。

青森県

【川内川】 11月10日現在

河川捕獲数および4年魚の累計河川捕獲数は、いずれも2006（平成18）年以降の変動の範囲内にあります（図2）。時期別に見ると、調査期間を通じて4年魚も5年魚も増加しています（図3）。過去数年との比較では、4年魚はいずれの時期においても変動の範囲内となっています（図4）。

【奥入瀬川】 11月30日現在

河川捕獲数および4年魚の累計河川捕獲数は、いずれも2006（平成18）年以降の変動の範囲内にあります（図2）。時期別に見ると、調査期間を通じて4年魚も5年魚も増加しています（図3）。過去数年との比較では、10月下旬、11月中旬において4年魚が最も少なくなっています（図4）。

【新井田川】 11月30日現在

河川捕獲数および4年魚の累計河川捕獲数は、いずれも2006（平成18）年以降の変動の範囲内にあります（図2）。時期別に見ると、10月下旬および11月上旬で4年魚が少なくなっていますが、10月下旬は3年魚、11月上旬は3年魚と5年魚が多くなっています（図3）。過去数年との比較では、10月下旬、11月上旬において4年魚最も少なくなっていますが、それ以外の時期では変動の範囲内となっています（図4）。

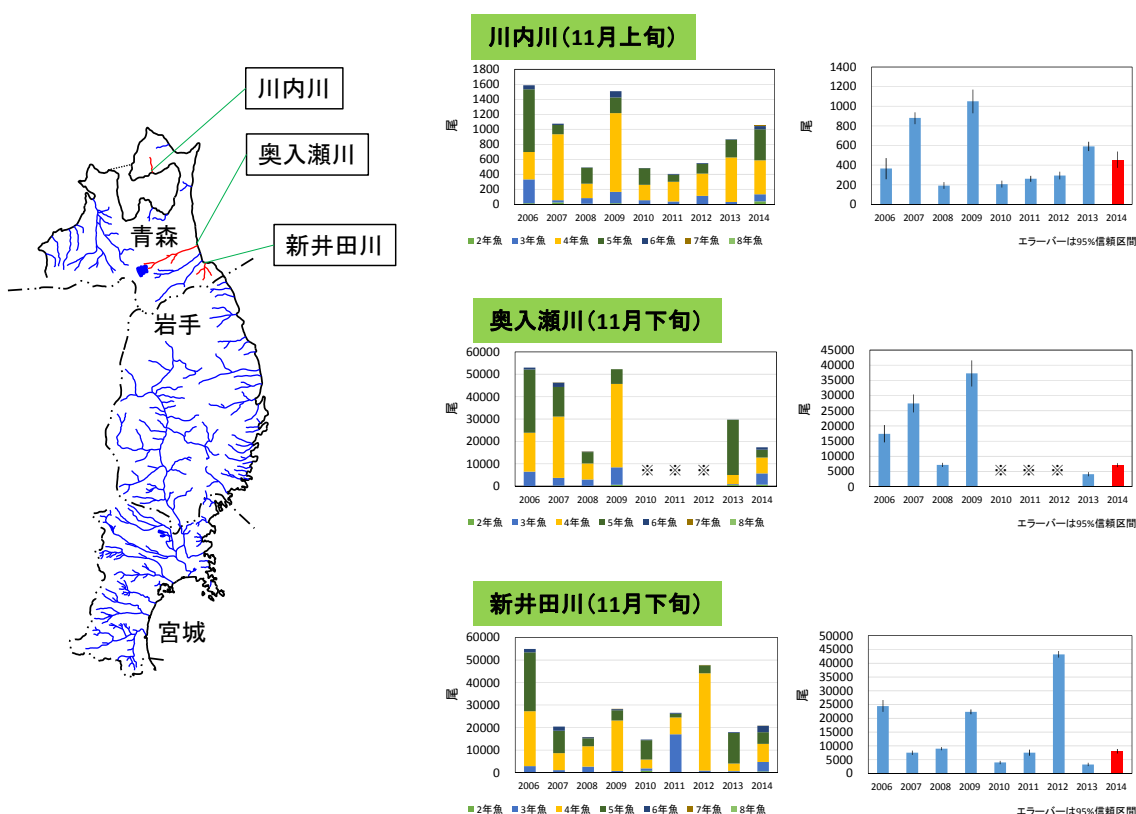


図2. 年齢別の河川捕獲数（左側のグラフ）および4年魚の河川捕獲数（右側のグラフ）。いずれのグラフも2014年と同一旬における各年の累計値を比較。※は調査を実施していないことを示す。

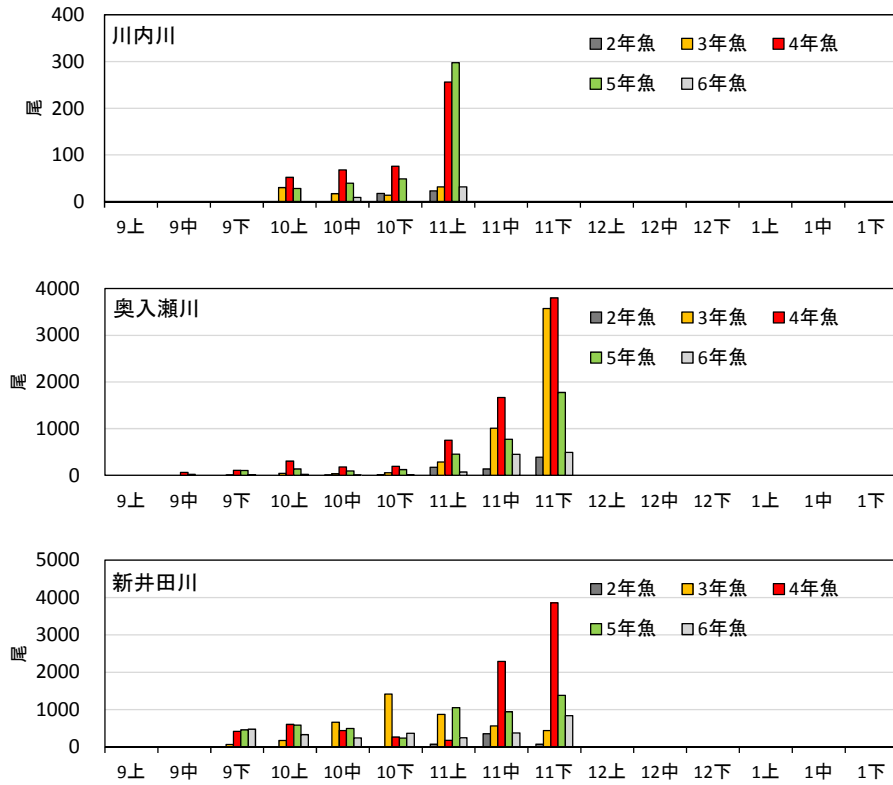


図 3. 2014 年の時期別・年齢別河川捕獲数.

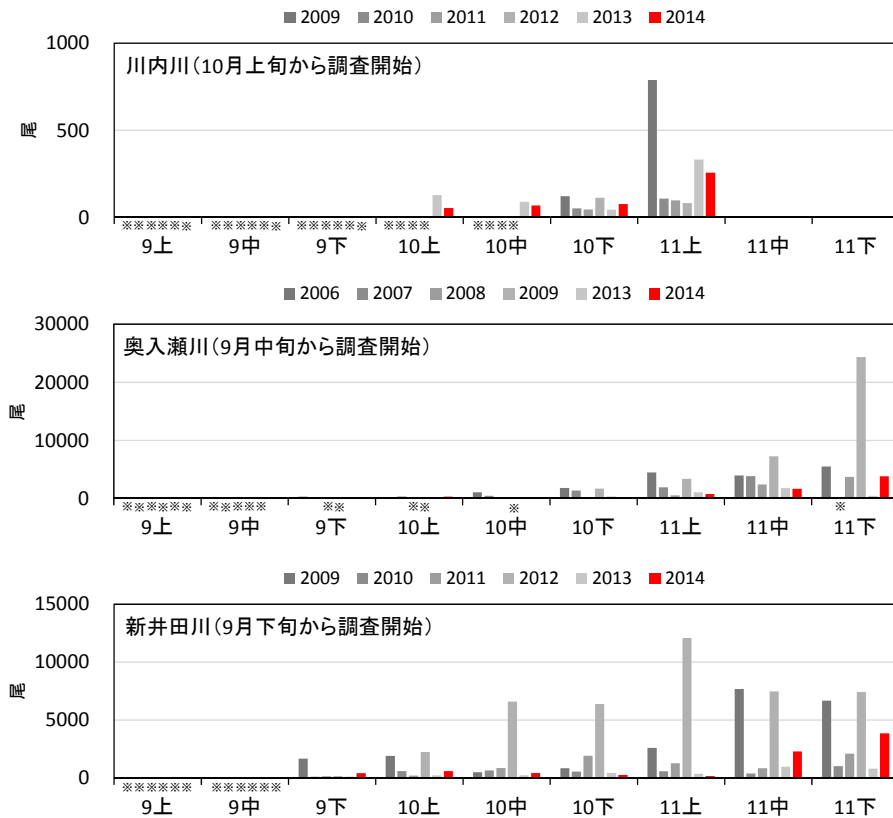


図 4. 4 年魚の時期別河川捕獲数 (過去 5 年との比較). 奥入瀬川はデータの存在する 2006、2007、2008、2009、2013 年の 5 カ年との比較とした. ※は調査を実施していないことを示す.

岩手県

【安家川】 11 月 30 日現在

河川捕獲数および 4 年魚の累計河川捕獲数は、2006（平成 18）年以降で最も少ない状況です（図 5）。時期別に見ると、10 月以降 4 年魚は減少し、10 月中旬から 5 年魚が多くなっています（図 6）。過去数年との比較では 10 月中旬以降、4 年魚が最も少なくなっています（図 7）。

【田老川】 11 月 30 日現在

河川捕獲数は 2006（平成 18）年以降で最も少なく、4 年魚の累計河川捕獲数は、2006（平成 18）年以降で 2 番目に少ない状況です（図 5）。時期別に見ると、10 月中旬に 4 年魚が減少し、11 月上旬から 5 年魚が増加しています（図 6）。過去数年との比較では、11 月中旬以降、4 年魚が最も少なくなっています（図 7）。

【津軽石川】 11 月 30 日現在

河川捕獲数および 4 年魚の累計河川捕獲数は、いずれも 2006（平成 18）年以降の変動の範囲内にあります（図 5）。時期別に見ると、4 年魚は調査期間を通じて変化が小さいのに対し、5 年魚が 11 月中旬以降増加しています（図 6）。過去数年との比較では、11 月中旬以降、4 年魚が最も少なくなっています（図 7）。

【織笠川】 11 月 30 日現在

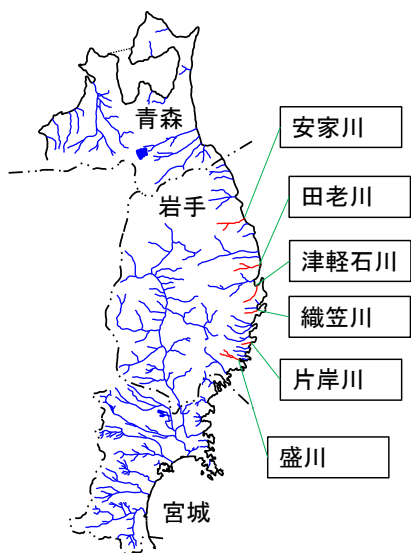
河川捕獲数および 4 年魚の累計河川捕獲数は、いずれも 2006（平成 18）年以降の変動の範囲内にあります（図 5）。時期別に見ると、調査期間を通じて 4 年魚も 5 年魚も増加しています（図 6）。過去数年との比較では、4 年魚はいずれの時期においても変動の範囲内となっています（図 7）。

【片岸川】 11 月 30 日現在

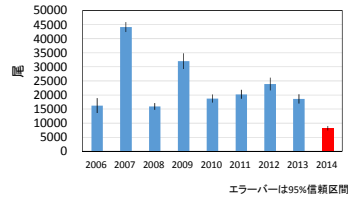
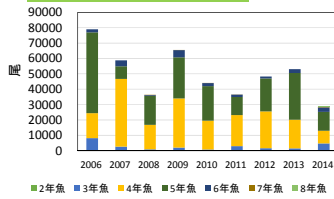
河川捕獲数は 2006（平成 18）年以降の変動の範囲内にありますが、4 年魚の累計河川捕獲数は最も少ない状況です（図 5）。時期別に見ると、4 年魚は 11 月上旬以降減少しており、5 年魚と 3 年魚が増加しています（図 6）。過去数年との比較では、10 月中旬以降、4 年魚が最も少なくなっています（図 7）。

【盛川】 11 月 30 日現在

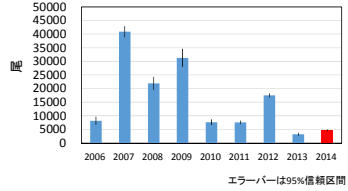
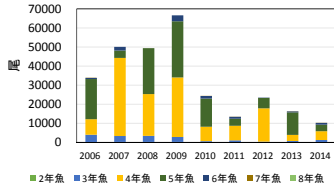
河川捕獲数は 2006（平成 18）年以降の変動の範囲内にありますが、4 年魚の累計河川捕獲数は最も少ない状況です（図 5）。時期別に見ると、4 年魚は 10 月下旬から減少し、11 月中旬にはほとんど出現していません。また、5 年魚も 4 年魚と類似した増減ですが、常に 4 年魚の尾数を上回っています（図 6）。過去数年との比較では、10 月下旬以降、4 年魚が最も少なくなっています（図 7）。



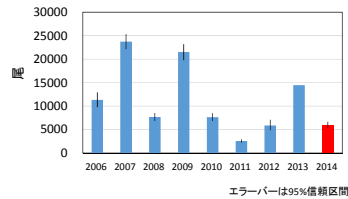
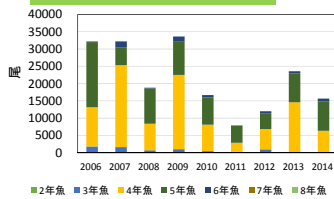
安家川(11月下旬)



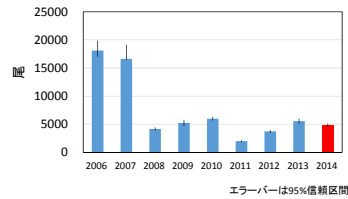
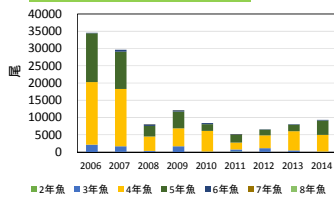
田老川(11月下旬)



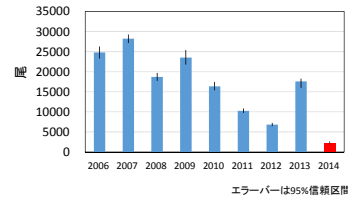
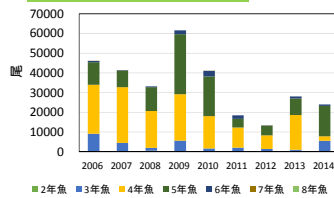
津軽石川(11月下旬)



織笠川(11月下旬)



片岸川(11月下旬)



盛川(11月下旬)

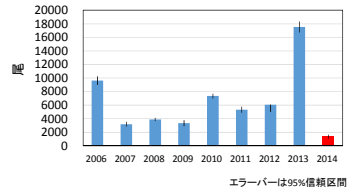
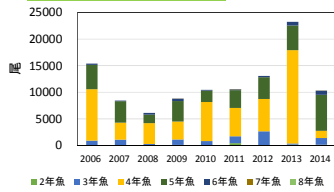


図5. 年齢別の河川捕獲数（左側のグラフ）および4年魚の河川捕獲数（右側のグラフ）。いずれのグラフも各年における11月30日現在までの累計値。

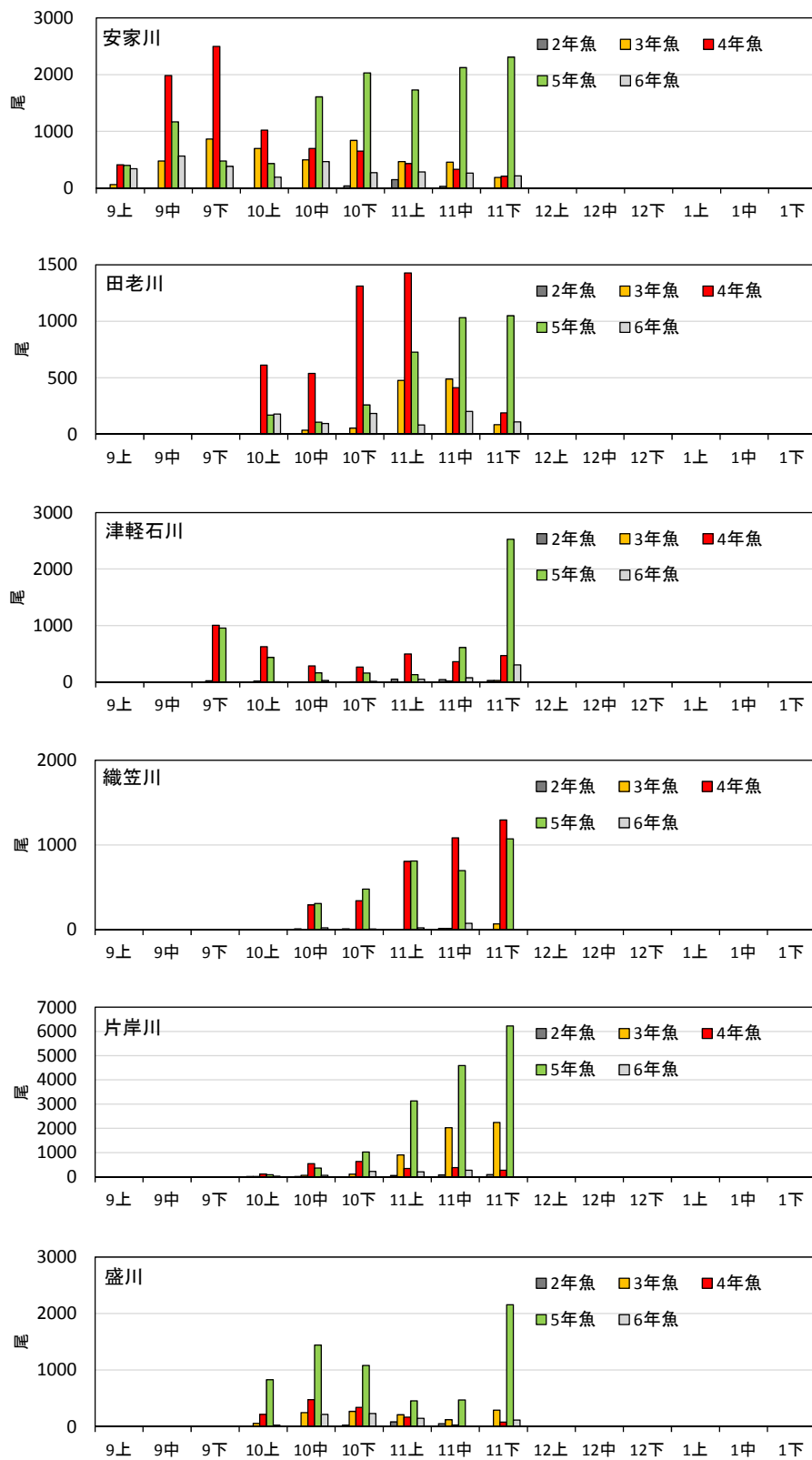


図 6. 時期別・年齢別河川捕獲数.

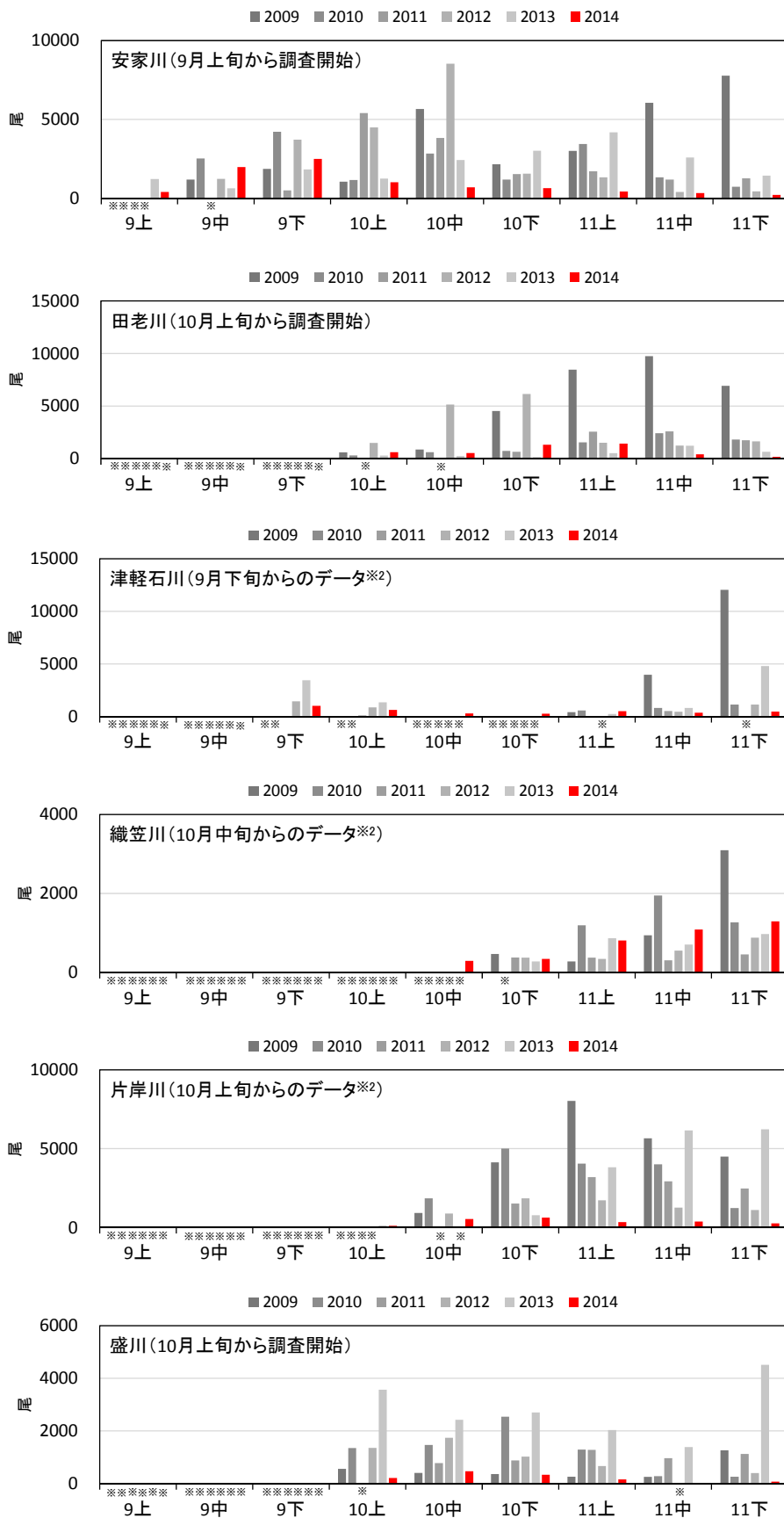


図7. 4年魚の時期別河川捕獲数（過去5年との比較）. ※は調査を実施していないことを示す.
 ※2: 岩手県水産技術センター提供のモニタリングデータのみを使用しているため、同センターが定期的に公表する「秋サケ回帰情報」とは調査開始時期等が若干異なる.

宮城県

【気仙沼大川】11月20日現在

河川捕獲数は2006（平成18）年以降の変動の範囲内ですが、4年魚の累計河川捕獲数は最も少ない状況です（図8）。時期別に見ると、4年魚は調査期間を通じて少なく、10月中旬にはほとんど出現していません（図9）。過去数年との比較では、10月上～下旬において、4年魚が最も少なくなっています（図10）。

【北上川】11月20日現在

河川捕獲数は2006（平成18）年以降で最も少なく、4年魚の累計河川捕獲数は2番目に少ない状況です（図8）。時期別に見ると、調査期間を通じて4年魚は、ほぼ同様の尾数で推移しています（図9）。過去数年との比較では、10月下旬以降、4年魚が最も少なくなっています（図10）。



図8. 年齢別の河川捕獲数（左側のグラフ）および4年魚の河川捕獲数（右側のグラフ）。いずれのグラフも2014年と同一旬における各年の累計値を比較。

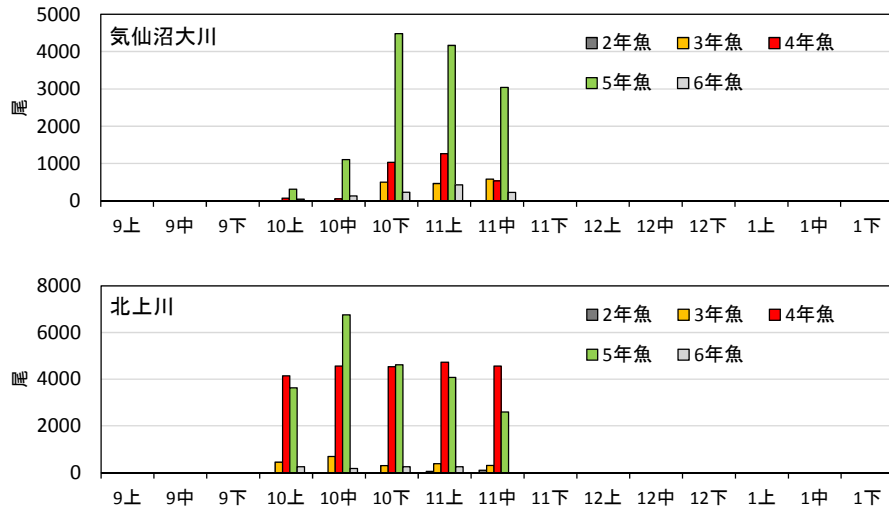


図 9. 時期別・年齢別河川捕獲数.

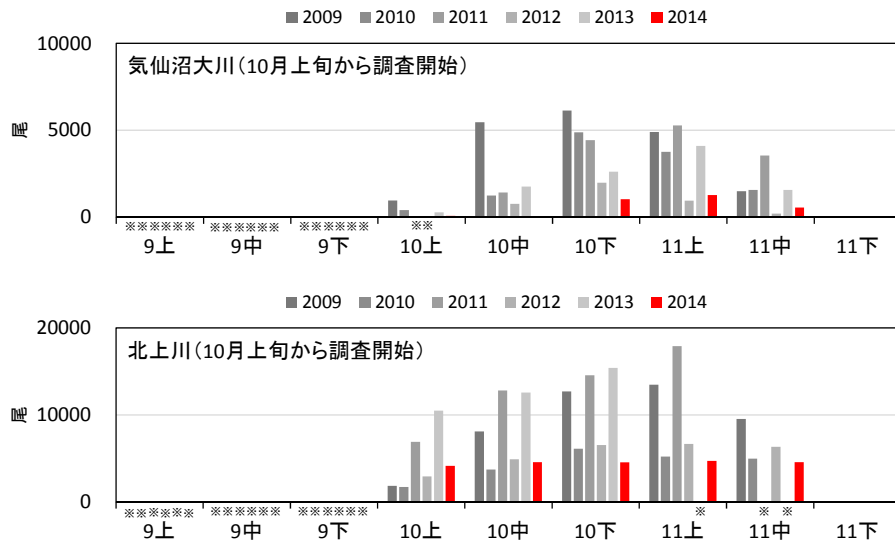


図 10. 4年魚の時期別河川捕獲数 (過去5年との比較). ※は調査を実施していないことを示す.